

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公開番号】特開2005-102777(P2005-102777A)

【公開日】平成17年4月21日(2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-016

【出願番号】特願2003-336894(P2003-336894)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 A

A 6 3 F 7/02 3 0 8 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月26日(2006.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

略鉛直方向に延びるベース部と、

前記ベース部よりも上方の遊技領域に遊技球を案内するべく前記ベース部に設けられた発射レールと、

前記発射レールの基端側に設けられ、発射レール上に載せられた遊技球を弾くことで発射レールの先端側から発射させるための発射装置と、

前記発射装置による発射に際し、前記発射レール上に載せられる遊技球を所定の停止位置に位置決めするべく、前記ベース部に取付けられた位置決め部材とを備え、

少なくとも前記発射レール上の2点と、前記位置決め部材とで前記遊技球を支持することで、当該遊技球を所定の停止位置に位置決め可能な遊技機であって、

前記位置決め部材は、固定手段用の孔を有するとともに、該孔を通って固定手段が前記ベース部に固定されることで取付固定されてなり、

前記固定手段による固定を一旦解除した状態で前記位置決め部材を回動調整することで、前記所定の停止位置を変更可能としたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

略鉛直方向に延びるベース部と、

前記ベース部よりも上方の遊技領域に遊技球を案内するべく前記ベース部に設けられた発射レールと、

前記発射レールの基端側に設けられ、発射レール上に載せられた遊技球を弾くことで発射レールの先端側から発射させるための発射装置と、

前記発射装置による発射に際し、前記発射レール上に載せられる遊技球を所定の停止位置に位置決めするべく、前記ベース部に取付けられた位置決め部材とを備え、

少なくとも前記発射レール上の2点と、前記位置決め部材とで前記遊技球を支持することで、当該遊技球を所定の停止位置に位置決め可能な遊技機であって、

前記位置決め部材は、自身の中心とは異なる偏心位置に螺着手段用の孔を有するとともに、該孔を通って螺着手段が前記ベース部に螺着されることで取付けられてなり、

前記螺着手段を一旦緩めた状態で前記位置決め部材をベース部に対し相対回動調整することで、前記所定の停止位置を変更可能としたことを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

略鉛直方向に延びるベース部と、

前記ベース部よりも上方の遊技領域に遊技球を案内するべく前記ベース部に設けられた発射レールと、

前記発射レールの基端側に設けられ、発射レール上に載せられた遊技球を弾くことで発射レールの先端側から発射させるための発射装置と、

前記発射装置による発射に際し、前記発射レール上に載せられる遊技球を所定の停止位置に位置決めするべく、前記ベース部に取付けられた位置決め部材とを備え、

少なくとも前記発射レール上の 2 点と、前記位置決め部材とで前記遊技球を支持することで、当該遊技球を所定の停止位置に位置決め可能な遊技機であって、

前記位置決め部材は、断面非円形の柱形状をなし、かつ、螺着手段用の孔を有するとともに、該孔を通って螺着手段が前記ベース部に螺着されることで取付けられてなり、

前記螺着手段を一旦緩めた状態で前記位置決め部材を前記ベース部に対し回動調整することで、前記所定の停止位置を変更可能としたことを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

略鉛直方向に延びるベース部と、

前記ベース部よりも上方の遊技領域に遊技球を案内するべく前記ベース部に設けられた発射レールと、

前記発射レールの基端側に設けられ、発射レール上に載せられた遊技球を弾くことで発射レールの先端側から発射させるための発射装置と、

前記発射装置による発射に際し、前記発射レール上に載せられる遊技球を所定の停止位置に位置決めするべく、前記ベース部に取付けられた位置決め部材とを備え、

少なくとも前記発射レール上の 2 点と、前記位置決め部材とで前記遊技球を支持することで、当該遊技球を所定の停止位置に位置決め可能な遊技機であって、

前記位置決め部材は螺着手段用の孔を有するとともに、前記ベース部は前記螺着手段の径よりも長径の長孔を有し、螺着手段が前記螺着手段用の孔及び長孔を通って反対側からナットが螺着されることで、前記位置決め部材が前記ベース部に取付けられてなり、

前記螺着手段を一旦緩めた状態で前記位置決め部材を前記長孔の延設方向に移動調整することで、前記所定の停止位置を変更可能としたことを特徴とする遊技機。

【請求項 5】

前記発射レール上の 2 点と、前記位置決め部材とで囲まれた領域内に、前記発射装置の打点が設定されていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 6】

前記発射装置は、直線運動を行うことで出没可能な打撃部材を備えており、該打撃部材のストローク量がほぼ一定であることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 7】

前記位置決め部材に、その回動位置認識用の目印を設けたことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の遊技機。